

関西大学(プレゼンテーション評価)

基礎演習 ルーブリック

2015年3月18日(木)

◎「評価の観点」のAからDについて、1から4のなかから当てはまる箇所(ことばが書かれた部分)に○をつけてください。

評価の観点	評価の観点の説明	1	2	3	4
A 論点・論理的構造の 明確さ	担当章の論点や論理的構造がわかりやすく示されているかどうか。	論点が見えていない。	論点が見えているが、まとまりがみられない箇所がある。	論点が見えており、担当章の要点もまとまっている。	論点が見えており、前後の章との関連も含め、本全体の中での担当章の位置づけも明確に示されている。
B グループ発表の 達成度	グループで効果的に分担しながら、メンバー全体が協力して発表に取り組んでいるかどうか。	グループで発表に取り組んでいない。	グループでの分担はみられるが、特定の人だけが発表に取り組んでいる。	メンバー全体が協力して発表に取り組んでいる。	グループで効果的に分担しながら、メンバー全体が協力して発表に取り組んでいる。
C 声の聞き取りやすさ	声が十分に聞き取りやすいかどうか。	声が聞き取れない。	声は聞き取れるが、所々聞き取りにくい。	声が聞き取りやすい。	声の大きさに抑揚がついており、十分に聞き取りやすい。
D 時間の管理	発表時間が守られているかどうか。	発表時間に大幅に余りがみられたり、超過したりしている。	発表時間に若干余りがみられたり、超過したりしている。	発表時間が制限時間内に収められている。	発表時間が制限時間内に収められており、情報量も過不足がなく、適切である。

◎発表に関して良かった点や発表の”見どころ”(ルーブリックにはみられない優れた点など)を書いてください。

新潟大学(レポート評価)

課題シート

レポート課題

医療や科学の進歩にはめざましいものがあります。少し前までは治療することが難しかった病気にも対処できるようになりました。また、便利な道具も世の中に溢れており、日々、私たちは恩恵を受けて暮らしています。しかしその一方で、進歩がもたらしたさまざまな問題も抱え込んでしまいました。皆さんもテレビや新聞で見聞きしていることでしょうか。その解決のために、多くの議論がなされていますが、どの問題もしかるべき解決策が示されていないのが現状ではないでしょうか。

そこで、与えられたテーマ「医療や科学の進歩がもたらした諸問題」から具体的な問題を設定し、主体的に調査・学習を行い、自分の考えをレポートにして提出してください。

- ・ レポートは、概要400~600字、本文2800~3200字としてください。
- ・ なぜこの問題を選んだのか、また時代的・社会的背景など、わかりやすく記述してください。
- ・ どのような調査結果を得たか、またそれらの事実やさまざまな意見から、どのような結論にいたったかを、配布したライティング・ルーブリックを参考にして、論理的に記述してください。
- ・ 必要に応じて図表などを挿入してもかまいません(図表は字数に含めません)。
- ・ 雑誌や書籍、ウェブサイトから引用した箇所には、著者名と文献の発表年を記載し、レポートの最後に文献表を載せてください(文献表は字数に含めません)。

自己評価

背景と問題	主張と結論	根拠と事実・データ	対立意見の検討	全体構成	表現ルール
-------	-------	-----------	---------	------	-------

- ・ 配布したライティング・ルーブリックにしたがって、自分のレポートを自己評価し、上に3~0のレベルを記入してください。
- ・ 自己評価結果から、今回の学習により「問題解決能力」「論理的思考力」「文章表現力」をどの程度身につけることができたか、あるいは何が身につかなかったかなど、自分自身を振り返り、これからの学習に役立ててください。

注 現在は「医療や科学の進歩がもたらした諸問題」をレポート課題にしているが、以前は、その時々話題となった社会問題を課題にしていた。

ライティング・ルーブリック

観点	問題解決		論理的思考		文章表現	
	背景と問題	主張と結論	根拠と事実・データ	対立意見の検討	全体構成	表現ルール
観点の説明	与えられたテーマから自分で問題を設定する。	設定した問題に対し、展開してきた自分の主張を関連づけながら、結論を導く。	自分の主張を支える根拠を述べ、根拠の真実性を立証する事実・データを明らかにする。	自分の主張と対立する意見を取り上げ、それに対して論駁（問題点の指摘）を行う。	問題の設定から結論にいたる過程を論理的に組み立て、表現する。	研究レポートとしてのルール・規範を守り、適した文章と言い回しを用いてレポートを作成する。
レベル3	与えられたテーマから問題を設定し、論ずる意義も含め、その問題を取り上げた理由や背景について述べている。	設定した問題に対し、展開してきた自分の主張を関連づけながら、結論を導いている。結論は一般論にとどまらず、独自性を有している。	自分の主張の根拠が述べられており、かつ根拠の真実性を立証する信頼できる複数の事実・データが示されている。	自分の主張と対立するいくつかの意見を取り上げ、それらすべてに対して論駁（問題点の指摘）を行っている。	問題の設定から結論にいたる論理的な組み立て、記述の順序、パラグラフの接続が整っている。概要は本文の内容を的確に要約している。	・研究レポートとして適した文章と言い回しを用いてレポートを書いている。 ・引用部分と自分の文章の区別を明示し、引用部分については、レポートの最後に出所を確認できる形で参考文献を記載している。 ・概要、本文ともに字数制限が守られている。
レベル2	与えられたテーマから問題を設定し、その問題を取り上げた理由や背景について述べている。	設定した問題に対し、展開してきた自分の主張を関連づけながら、結論を導いている。	自分の主張の根拠が述べられており、かつ根拠の真実性を立証する信頼できる事実・データが少なくとも一つ示されている。	自分の主張と対立する少なくとも一つの意見を取り上げ、それに対して論駁（問題点の指摘）を行っている。	問題の設定から結論にいたる論理的な組み立て、記述の順序、パラグラフの接続がおおむね整っている。	・概要、本文ともに字数制限が守られている。
レベル1	与えられたテーマから問題を設定しているが、その問題を取り上げた理由や背景の内容が不十分である。	結論は述べられているが、展開してきた自分の主張との関連づけが不十分である。	自分の主張の根拠は述べられているが、根拠の真実性を立証する信頼できる事実・データが明らかにされていない。	自分の主張と対立する意見を取り上げているが、それに対して論駁（問題点の指摘）がなされていない。	問題の設定から結論にいたるアウトラインはたどれるが、記述の順序やパラグラフの接続に難点のある箇所が散見される。	<3つの条件をすべて満たす場合は「レベル3」、2つの場合は「レベル2」、1つの場合は「レベル1」とする。>
レベル0	レベル1を満たさない場合はゼロを割り当てること。					

注1 論理的思考や問題解決についての枠組みを示した牧野（2008）の「論理のしくみ図」「論理のしくみ図シート」「論理ぶんせきシート」に含まれる観点や記述を参考にして作成した。

注2 当初のルーブリックはレベルは3段階であったが、信頼性分析の結果から、現在ではレベル3～0の4段階にしている。

新潟大学(PBL評価)

シナリオ1（第2学年前期用）

わたして、ダメな歯学部生？

あなたは、新潟大学歯学部の2年生です。4月から専門科目の授業が始まり、解剖学や生理学を学んでいます。PBLという新しい学習方法にまだ慣れず、また学習内容も急に難しくなったように感じられ、不安を抱えながら悪戦苦闘の毎日です。

そんなある日、全学のサークルで知り合った友人の佐藤彰くん（工学部3年生）が、左の頬を腫らして近づいてきました。彼は3日前に、近くの歯科医院で、下顎の左側智歯を抜去したとのことですが、いまだに左側の下唇に麻酔がかかっているような感じが残り、ご飯粒がついていてもわからないといいます。また、抜歯してから口を大きく開けられなくなり、飲み込むときにノドの左側に痛みもあるとのこと、食事がとりにくいと訴えています。

あなたが歯学部の学生であることから、なんでこんなことが起きているのか説明してほしいと頼まれましたが、あなたはどう答えてよいかわからず黙っていました。彼は不安そうな顔をして、「次のサークルのときでいいから」と言って別の友人のところに去って行きました。彼の後ろ姿を見ながら、将来、歯科医療従事者になるものとして、せめて「大変だね」のひと言でもかけてあげればよかったと、あなたはちょっと後悔しました。

シナリオ2（第2学年後期用）

わたし、困っています！

あなたは、新潟大学医歯学総合病院の歯科衛生士です。

今日は担当患者の高橋勇蔵さん（67歳・男性）の2回目の診療日です。高橋さんは中等度の歯周病があり、初回は歯周検査と病状説明を行いました。

あなた：高橋さん、お口の具合はいかがですか。前回、タバコをやめるようお話ししましたが、禁煙されましたか。

高橋：してないよ。私はね、タバコをやめるくらいなら死んだ方がましだと思っているよ。この前、国から送られてきたアンケートにも「生きがいはタバコを吸うこと」と書いたくらいだ。相変わらず1日40本は吸っている。歯科に来て、なんでタバコをやめるよう言われなきゃならんのだね。

あなた：でも、高橋さんは糖尿病もあるし、やめた方がいいと思いますが・・・

高橋：糖尿病は関係なかろう。ここは歯科だろう。おやおや、内科と間違えたかな。

あなた：歯科ですけど・・・。とにかく、前回言ったことと同じことを言いますが、まずはタバコをやめてください、いいですね。

高橋：ああ、わかった。あんたはタバコが嫌いだな。

ワークシート (シナリオ共通)

ステップ1

- 1-1. シナリオから読みとれる「事実」を列挙してください。また、各事実の関係を、「○」や「→」などを使って図示してください。
- 1-2. 事実から、このシナリオにおける「あなた」の「問題」を述べ、問題とした理由を説明してください。
2. 問題に対して何をもちて解決とするか「目標」を定め、目標に到達するための「解決策」を述べてください。また、あなたが解決策を着想するにいたった過程を、これまでの学習や経験とも結びつけて説明してください。
3. 問題の解決に必要な知識や情報を補うための「学習課題」を設定し、なぜその課題を学ぶ必要があるのか説明してください。

ステップ2

4. 「学習結果」を述べ、その情報源（引用した図書や文献、ウェブサイトなど）を記載してください。
- 5-1. あなたの考えた「解決策」の有効性や実行可能性を検討してください。検討のために、新たな知識や情報が必要であれば、追加学習を行ってください。
- 5-2. もし、すべての解決策が不適切と判断した場合は、2にもどり、解決策の着想から学習を再開し、その内容を赤字で追記してください。
- 6-1. 5での検討をもとに、問題に対する「最終的な解決策」を述べてください。
- 6-2. 6-1で導きだした解決策をより効果的に実行するうえで、相手から「追加情報」が必要な場合は、その情報と必要な理由を述べてください。

自己評価

今回の学習に関して、下記の各観点について自己評価し、レベルを記入してください。
また、「うまくやれたこと」や「今後、改善の余地があると感じたこと」を述べてください。

問題発見	解決策の着想	学習課題の設定	学習結果とリソース	解決策の検討	最終解決策の提案
------	--------	---------	-----------	--------	----------

PBLルーブリック・ステップ1&2 (シナリオ共通)

観点	問題発見～最終解決策の提案					
	1. 問題発見	2. 解決策の着想	3. 学習課題の設定	4. 学習結果とリソース	5. 解決策の検討	6. 最終解決策の提案
観点の説明	シナリオの事実から、問題を見いだす。	解決の目標を定め、いくつかの解決策を立案する。	問題の解決に必要な学習課題を設定する。	信頼できるリソースから、学習課題を調査する。	解決策の有効性や実行可能性を検討する。	問題に対して最終的な解決策を提案する。
レベル3	問題を見いだし、シナリオの事実から、推察しうる原因も含め、問題とした理由を述べている。	いくつかの解決策を立て、これまでの学習や経験とも結びつけて、解決策の立案過程を述べている。	学習課題を的確に設定し、解決策と学習課題の関連から必要性を述べている。	利用可能なさまざまなリソースを駆使し、信頼性に注意して、正しい内容を学習している。	いくつかの解決策を比較検討し、それぞれの有効性や実行可能性を考察している。同時に、解決策の限界にも思いをめぐらしている。	シナリオの状況に適した、妥当な最終解決策を提案している。解決策をより効果的に実行するために、追加情報の必要性に気づいている。
レベル2	問題を見いだし、シナリオの事実から、問題とした理由を述べている。	いくつかの解決策を立て、解決策の立案過程を述べている。	学習課題を設定し、解決策と学習課題の関連から必要性を述べているが、重要な学習課題が一部欠如している。	リソースの信頼性に注意して、おおむね正しい内容を学習している。	いくつかの解決策を比較検討し、それぞれの有効性や実行可能性を考察している。	シナリオの状況に適した、妥当な最終解決策を提案している。
レベル1	問題を見いだしているが、問題とした理由の説明は不十分である。	解決策を立てているが、立案過程の説明は不十分である。あるいは解決策が1つのみである。	学習課題が漠然としており、何を学ぶべきか焦点が絞られていない、あるいは必要性の説明が不十分である。	リソースの信頼性についての注意が不十分で、学習内容にいくつかの誤りが含まれている。	解決策の検討は不十分である、あるいは複数の解決策について比較検討していない。	最終解決策の提案にいたっていない、あるいは解決策、学習結果、結論の間に矛盾や飛躍がある。
レベル0	レベル1を満たさない場合はゼロを割り当てること。					
留意事項	ワークシート1を評価	ワークシート2を評価	ワークシート3を評価	ワークシート4を評価	ワークシート5を評価	ワークシート6を評価

PBLルーブリック・ステップ3 (シナリオ2用)

観点	解決策の実行			
	7-1. 追加情報の収集 (追加情報の収集と問題の再把握)	7-2. 情報の統合 (追加情報の統合と解決策の内容修正)	7-3. 共感的態度 (相手への共感)	7-4. コミュニケーション (相手に合わせた解決策の表現)
観点の説明	禁煙を働きかける上で必要となる追加情報を患者とのやりとりを通じて収集し、必要に応じて問題の再把握を行う。	禁煙を働きかける上で有用な情報を追加情報も入れて統合し、必要に応じて解決策の内容修正を行う。	患者の考えや価値観に配慮して禁煙を働きかける。	自分の考えを患者にわかりやすく説明する。
レベル3	歯周治療に対する患者のニーズや、なぜ「生きがいタバコを吸うこと」なのか、糖尿病の病状など、禁煙を働きかける上で必要な追加情報をすべて、的確に収集している。	患者からの追加情報も統合し、歯周治療における禁煙の重要性を、歯周病と喫煙の関係のみならず、歯周病と糖尿病の関係とも結びつけて深く柔軟に理解している。	「生きがいタバコを吸うこと」という患者の考えを受入れ、相手の気持ちに配慮して、患者の反応をみながら禁煙を働きかけている。	内容とその関連から、話の順序や組み立てを考え、平易な言葉で、相手の理解を意識しながら説明している。
レベル2	歯周治療に対する患者のニーズや、なぜ「生きがいタバコを吸うこと」なのか、糖尿病の病状など、禁煙を働きかける上で必要な追加情報を、ある程度収集している。	歯周治療における禁煙の重要性を、歯周病と喫煙の関係のみならず、歯周病と糖尿病の関係とも結びつけて適切に理解している。	「生きがいタバコを吸うこと」という患者の考えを受入れ、相手の気持ちに配慮して、禁煙を働きかけている。	話の順序や組み立てはおおむね整っているが、相手の理解を得る上で話の構成にやや問題がみられる。
レベル1	歯周治療に対する患者のニーズや、なぜ「生きがいタバコを吸うこと」なのか、糖尿病の病状など、禁煙を働きかける上で必要な追加情報のごく一部を収集している。	歯周治療における禁煙の重要性を、歯周病と喫煙の関係のみから理解している、あるいは歯周病と糖尿病に関する知識はあるが、禁煙指導と結びついていない。	患者の考えを認めているが、それに対する配慮が不十分である。	話の順序や組み立てが混乱しており説明が理解しにくい、あるいは事前に準備した内容を読み上げているだけである。
レベル0	レベル1を満たさない場合にはゼロを割り当てること。			
留意事項	「禁煙されましたか」など、単なる患者との会話でなく、禁煙指導という目的をもって質問したかに注目する。	説明内容から判断する。	言語・非言語の両面で判断する。	話癖や声のトーン、会話のスピードなどは評価に含めない。

山口大学(初年次科目「山口と世界」)

「山口と世界」コモンルーブリック

チームで、山口に関連する課題・テーマを設定し、情報を収集し、分析し、解決策や企画をまとめ、口頭や紙媒体(もしくは映像やWeb)で発表し、地域や国際的環境で活かす力を養う授業。アクティブ・ラーニングを通して、研究や社会実践の基本的なプロセスについて、学習の仕方やリサーチリテラシーの基本を学習することが目的である。

【確定版】

規準	内容	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0
発見する	山口に関連するテーマ設定、企画立案	山口に関連する課題に応じて、十分な下調べにもとづき、適切かつ独創的なテーマ設定、企画立案ができる。	山口に関連する課題に応じて、下調べをした上で、テーマ設定ができる。	山口に関連する課題に応じたテーマ設定ができる。	レベル1に満たない。
はぐくむ	テーマ設定、企画にもとづく情報収集およびコミュニケーション	課題、テーマ設定、企画に必要な情報を最大限に収集した上で、他者との協働作業を通して、学術的に適切な方法でプロダクツの作成につなげられる。	課題、テーマ設定、企画に応じた情報収集ができ、それらを分析・考察した上で、他者との協働作業を通して、プロダクツの作成に発展させられる。	課題、テーマ設定、企画に応じた情報収集ができ、他者とコミュニケーションを円りながら、プロダクツの作成につなげることができる。	レベル1に満たない。
かたちにする	編集、作品化、発表資料、レポート等、プロダクツの作成	収集した情報の分析・考察に基づき、独創性を備え、かつ、地域や国際的観点に立って説得力を持ったプロダクツを作成できる。	収集した情報の分析・考察にもとづき、プロダクツを作成できる。	期日までにプロダクツを完成することができる。	レベル1に満たない。
分かちあう	公開、プレゼンテーション、チームワーク	プロダクツを効果的に他者と共有するための戦略を立て、チームワークを発揮して展開し、認知・評価をえることができる。	プロダクツに説得力をもたせるため、グループ内での役割分担を明確化して取り進むことができる。	グループの活動に参加し、課題の求める形でプロダクツを公表できる。	レベル1に満たない。
振り返る	他者および自分(たち)の企画およびプロダクツの評価。今後の地域や国際的環境でのく発見する>につながる。	他者および自分(たち)の企画・活動・プロダクツを評価し、その評価をチームで共有し、地域や国際的観点に立って企画・実践にその評価を活かせる。	他者および自分(たち)の企画・活動・プロダクツを評価し、その評価をチームで共有できる。	他者および自分(たち)の企画・活動・プロダクツについてよかった点、悪かった点をあげられる。	レベル1に満たない。

区分	研究	商品開発
(参考)実用面への参照	先行研究の把握や予備調査・実験等にもとづくテーマ設定と研究計画	ブレ調査にもとづく商品企画
	実験、調査	実験、研究、開発
	データ分析、解釈、論文作成	商品化
	学会発表、シンポジウム、論文公表	マーケティング・リサーチ、広報、営業
	自己評価、他者による評価。次の研究に向けての準備	マーケティング・リサーチ、アセスメント、改良や次なる開発に向けての準備

山形大学(サービス・ラーニング)

〇〇町 「 (プログラム名) 」

番号	学生のみなさんの活動・成長に対する願い	とても願っている	少し願っている	ふつう	あまり願っていない	まったく願っていない
a	積極的に活動する	○				
b	積極的に地域の方々に話しかける	○				
c	学生同士、協力し合って活動する	○				
d	「楽しかった」「驚いた」「不思議に思った」等、感動体験をする・表現する。	○				
e	地域の抱える課題に気付く、課題を肌で感じる		○			
f	地元の人が「当たり前」と思っているものを「地域の魅力」として発掘する		○			
g	地域の活性化・発展のためのアイデアを深く考える	○				
h	地域の人々（高齢者や子ども達も含む）に刺激を与える	○				
i	地域の文化や自然や人などを知る	○				
j	地域での活動がうまくできるようになる		○			
k	この地域に「また来たい」と思う	○				
l	地域住民同士の交流が活発になるきっかけとなる		○			
m	学生自らの故郷や今住んでいる地域について考えるようになる		○			
n	広く社会問題や自然環境問題などについて興味を持ち、考えるようになる		○			
o	学生自らの普段の生活の便利さや良さに気付く	○				
p	大学の授業全般に対して主体的に学ぶようになる	○				
q	卒業後の進路や人生について深く考えるようになる	○				
r	大学で学ぶ目的意識が強くなる、目的が明確になる	○				
s						
t						

※上記以外で、自分自身でもつ活動・成長の目標があれば、空欄 s, t にお書きください。

※地域の方々が、上記「a」～「r」までのうち、特に重視しているもの

最も重視しているもの

b：積極的に地域の方々に話しかける

2 番目に重視しているもの

a：積極的に活動する

3 番目に重視しているもの

i：地域の文化や自然や人などを知る

4 番目に重視しているもの

q：卒業後の進路や人生について深く考えるようになる